

令和元年第5回大山町議会定例会一般質問

令和元年6月13日・14日

通告順	議席番号	氏名	質問事項
1	15	西山 富三郎	1. 自治法の改正がなされた、地方公共団体における内培統制の枠組みにどう取り組むか 2. ヘイトスピーチに焦点を当てた啓発活動は
2	3	門脇 輝明	1. ふるさと応援基金を活用した奨学金制度創設について 2. 大山町総合計画について 3. 人口減少対策について
3	1	森本 貴之	1. 子育て環境整備と少子化対策について 2. 観光振興について
4	12	吉原 美智恵	1. 公共交通デマンドバスの改善は？
5	4	加藤 紀之	1. 有害鳥獣から暮らしを守れ 2. 住宅施策について
6	2	池田 幸恵	1. 骨髓ドナー助成金制度の導入について
7	7	米本 隆記	1. 投票率を上げる手立ては 2. 高齢者の生きがいの創出は
8	10	近藤 大介	1. 道徳教育について 2. 職員定員の管理、計画的な採用について
9	8	大森 正治	1. 町民の暮らしを守るために 2. 開拓地域移住者に給水便宜を 3. 大山町から「平和山」の発信を
10	5	大原 広巳	1. 大山口駅舎の今後について 2. ひきこもりやいじめ・不登校について 3. 堆肥センターについて
11	13	岡田 聰	1. 消費税引き上げ時の対応は 2. 新年度の教育方針は 3. 地球温暖化対策に貢献を
12	9	野口 昌作	1. 大山町を担う青年の本町定住対策は

令和元年5月28日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一様

議席番号 15 番 大山町議会議員 西山 富三郎

印 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質問事項と要旨	質問の相手
1. 自治法の改正がなされた、地方公共団体における内部統制の枠組みにどう取り組むか。	町長 教育長
《内部統制の定義》 内部統制とは、基本的に ① 業務の効率的かつ効果的な遂行 ② 財務報告等の信頼性の確保 ③ 業務に関わる法令等の遵守 ④ 資産の保全 の4つの目的が達成されないリスクを、一定の水準以下に抑えることを確保するために業務に組み込まれ、組織内の全ての者によって遂行されるプロセスをいい、 ① 統制環境 ② リスクの評価と対応 ③ 統制活動 ④ 情報と伝達 ⑤ モニタリング（監視活動） ⑥ I C T（情報通信技術）への対応 の、6つの基本的要素から構成されている。 そこで、以下の質問をする。	
(1) 地方公共団体における内部統制 住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、行政サービスの提供等の事務を執行する主体である長自らが、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保すること。 地方公共団体の組織目的をより確実に達成されたい。	
(2) 内部統制の基本的な枠組みに基づき、既存の取組みに基づき、既存の取組みを整理。 必要に応じて改善・是正はどうか	
(3) 情報の隠蔽の対応は	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



質問事項と要旨	質問の相手
<p>(4) 意思決定プロセスの無視 (5) 委託業者とのトラブルは (6) 公文書の適正管理は</p>	
<p>2. ヘイトスピーチに焦点を当てた啓発活動は</p> <p>近年、特定の民族や国籍の人々排斥する差別言動が、いわゆるヘイトスピーチであるとして社会的関心を集めている。</p> <p>こうした言動は人々に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせることになりかねない。</p> <p>近時、このヘイトスピーチがマスメディアやインターネット等で大きく報道されるなど、更に社会的な関心が高まっている。</p> <p>国会において、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」が成立し、平成28年6月3日に施行された。</p> <p>(1) 大山町では、この法律に関連した要綱等は制定しているか (2) この法律に規定している、広報や啓発及び実態調査等の、具体的な活動内容の状況をたずねる。</p>	町長 教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

No. 1
令和元年5月30日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 3番 大山町議会議員 門脇 輝明  印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間) 60分

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 ふるさと応援基金を活用した奨学金制度創設について 平成30年9月定例会の一般質問で、Uターン促進を目的とした奨学金制度の創設を提案したところ、新年度に向けて考えて行きたいとの答弁がありました。 令和2年4月から国の施策として高等教育の無償化が実施されることになっていますが内容はまだ不十分であり、町独自の奨学金制度を早期に開始することが進学を希望する子どもや保護者にとって大きな力となると考えます。 現在までの検討状況と今後の見通しを伺います。</p>	町長 教育長
<p>2 大山町総合計画について 「楽しさ自給率の高いまちへ」を実現するための大山町総合計画（大山町未来作り10年プラン）は3年にわたり、70人以上のさまざまな年代の人70名が300時間以上の話し合いを持った大山未来会議から始まり、大山町総合計画策定委員会、大山町総合計画審議会の審議を経て、大山町が決定し町議会で議決された平成28年度から平成37年度(2025年度)までの計画で、すでに3年が過ぎました。 そこで、次の3点について伺います。 (1) 町長が町政に取り組む上で、総合計画をどのように位置づけているか基本的な考えを伺います。 (2) 総合計画は基本構想のなかで大切にしたいこととして、「つながること」「ふりかえり、次につなげる」の2点を挙げ、イメージとして、行政には「計画・実施・評価・改善」を、住民には「確認・参加・拡散・共感」のサイクルで進めることを求めています。このサイクルを動かすものは情報です。 基本計画には計画の進み具合の目安となるさまざまな指標が記載されていますが、これらの数値で、特に進んでいるものや遅れているものがあれば伺います。また、町民が計画の現状などを把握するなど住民側のサイクルをまわすために必要な情報を、町はどのように提供し周知をはかっているか伺います。 (3) 総合計画策定作業開始から6年が経過し、町を取り巻く状況の変化は大きなものがあり、計画に示された指標が意味を持たなくなっているものもあります。町長が交代されたこともあります。総合計画の後半が始まる2021年（令和3年）を目途に総合計画の見直しを行う必要があるのではと考えますが、所見を伺います。</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



質問事項と要旨	質問の相手
<p>3 人口減少対策について</p> <p>平成30年度の町内の 出生者数は100人を大きく割り込み、およそ80人であったと聞いています。全国的にみても出生数は低下しており、人口減少はとどまる所を知りません。</p> <p>町としても子育て支援や高齢者の健康保持施策などによる自然減の抑制や産業振興やI J Uターンの促進などの社会的要因による人口増を図っていますが、どれも人口減少を止めるほどの劇的な効果を見るにいたっていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、10年20年先を見据えた大山町の人口減少対策を考えるとき、2つの視点から見るとわかりやすいのではないかと思います。 <p>一つはコンパクトシティの考え方における集約化にかかる投資という点であり、もう一つは、さまざまな理由で集約化に加われない人や事柄に対する支援という点ですが、こうした見方について町長の所感を伺います。</p> <p>投資という面で、町は保育料の無償化、給食費の支援、高校通学費の補助など、子育てしやすい環境の整備に先進的に取り組んできたと思いますが、国や県も町のあとを追うように教育の無償化などを実施し、町の取り組みの魅力が相対的に下がってしまうので、新たな取り組みが必要となります。</p> <p>そこで、これについて次の2点を提案したいと思います。</p> <p>(1) 国の保育料無償化制度により、軽減された町の予算を活用して出産祝い金制度の実施</p> <p>(2) 三歳未満児の保育希望者増加に対応するための大山きやらぼく保育園の拡充。</p> <p>支援という面では、山間の地域に住まわれている高齢の方から、便利のいい里部で暮らしたいが、年金暮らしであるため家賃の支払いが難しい。</p> <p>また、保証人になってもらえる人がいないなどの理由で転居することができないとの声を聞きます。</p> <p>素人の考えですが、町が里部にある空き家を購入や借り上げをして、それを町営住宅として、希望者が所有している土地や家屋を担保に格安で利活用してもらうような仕組みづくりはできないか伺います。</p>	町長 教育長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 1番 大山町議会議員 森本 貴之



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間)

60分

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 子育て環境整備と少子化対策について</p> <p>生活の多様化により、子育てに対する考え方や環境のあり方は様々です。国難とも言われる人口減少。特効薬は無いという表現をよく耳にします。無いからこそ私たちは協力し合い、その限りを尽くしていかなくてはなりません。いくら便利な社会になろうとも、変わってはならないのは人と人とのつながりです。</p> <p>子育て環境の充実と少子化対策は喫緊の課題であります。</p> <p>①直近5年間の出生数の推移をお聞かせください。 ②本町における子育ての魅力とは何だと考えますか。 ③休日保育の必要性をどう考えますか。 ④出産祝い金等の検討をされませんか。 ⑤三世代同居、近居への支援策を検討されませんか。</p>	町長 教育長
<p>2. 観光振興について</p> <p>自然と歴史に恵まれ、多くの観光資源を有する本町において観光振興は重要なテーマです。1300年祭の大山観光はどうなるのか。町内外多くの人が注目しています。</p> <p>観光産業を如何に成長させるのか。本町の基幹産業である観光とはどうあるべきかを考えていかなくてはなりません。</p> <p>①本町において観光とはどうあるべきか。将来ビジョンをお聞かせください。 ②インバウンド対応への取り組みをどのように考えておられますか。 ③観光の受け皿をどのように整備していきますか。 ④広域観光連携の現状と今後の動きをお聞かせください。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

No. 1
令和 元年 6月 3日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 12 番 大山町議会議員 吉原 美智恵



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
1. 公共交通デマンドバスの改善は? 現在大山町では、地域交通存続の危機を乗り越えるため、全町をカバーするとして、スマイル大山号(デマンドバス)が導入され、運行されている。 その背景には、自家用車依存、少子高齢化等により、バス路線廃止→利便性低下→利用者減少→収支悪化→地域交通存続の危機という構図を招き、その対策として、必要な時に必要なだけ運行するデマンドバスが導入されたものと認識している。 そういう中で、課題も出てきている現状がある。 スマイル大山号の利用は、29年度より30年度が減っている事や、平均乗車率が低いことなど、なかなか町民の方が必要に応じて気軽に利用されている状況が生まれていない。 運行会社にとっても、管理コストが増加しているようである。 町民にとって重要な地域交通の改善が必要ではないか。	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



No. 1
令和 元年 6月 3日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 加藤紀之 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 有害鳥獣から暮らしを守れ</p> <p>有害鳥獣のなかでも、特にイノシシによる様々な点での被害を耳にする。農業に従事する人からは農作物に対する被害を耳にするが、そうではない人からは道路に対する被害を聞いている。</p> <p>どのような被害かというと、法面が上方に位置するような道路でイノシシが落石をもたらしているような事例だ。実際、山間部の道路を走ってみるとちょくちょく路上に石が転がっている状況に出くわす。小さな石に思えてもタイヤが乗りあげると大きくハンドルをとられることもあるし、岩と呼べるような大きさの落石をもたらしていた話も聞いている。</p> <p>有害鳥獣の駆除で被害を抑制しつつ、何かの際にはしっかりと対応する必要があると考える。</p> <p>①先ほど述べた落石について相談は受けているか。 また、どのように対応しているか。</p> <p>②抑制という観点からはどのように考えるか。</p>	町長
<p>2. 住宅施策について</p> <p>近年、山陰道の各インターチェンジ近辺では官民それぞれによる宅地造成などが進み非常に活気付いている。移住・定住の面からは喜ばしいことではあるが、その半面で心配されることもある。大きな団地に同時期に子育て世帯が住み始めることで、数十年後に問題を抱えた事例は全国的に知られてる。</p> <p>また、既に定住している若い世代が既存の集落から新しい宅地に移り住んでしまうことで、集落から活気が失われているように感じている。</p> <p>①既存の集落を守るための施策を考えていくべきではないか。</p> <p>②現在、大山、名和インターチェンジ付近と中山インターチェンジ付近で大きな差が生まれているように感じるがどのように感じているか。</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。



No. 1
令和 1年 6月 3日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 2番 大山町議会議員 池田 幸恵

印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 30分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>骨髓ドナー助成金制度の導入について</p> <p>・白血病を救う「骨髓提供」には、輸血を受けたことの無い方や54歳以下であることなどドナー登録の条件も厳しいものです。</p> <p>さらに、約一週間の入院が必要であり、経済的負担や職場の環境によっては、適合しても提供できない事例が数多くあります。</p> <p>中国5県の中でも鳥取を除く4県には助成制度を導入している市町村があります。</p> <p>平井知事も、5月10日の新聞に、導入に向けての検討事項が掲載されておりましたが、大山町としても検討はされないか。</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



令和 1 年 6 月 3 日

大山町議会議長 杉谷 洋一様

議席番号 7 番 大山町議會議員 米本 隆記 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 30 分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 投票率を上げる手立ては 今年4月に行われた知事と県議会議員選挙は両方とも62%強という結果でした。前回平成27年の時は67%前後となっていまもす。おおよそ5%も下がりました。選挙権が18歳になって、もっと若い人に関心を持つてもらえるかと思っていました。また、年配の方はどうだったのでしょうか。今年4月の時点で有権者は約14000人。つまり約5300人は棄権をされたのです。何か事情はあるにしても、投票率を上げることを考えませんか。町民の義務に対して行政は厳しく対応します。しかし、権利はどうでしょうか。 町長の所見を伺います。</p>	町長
<p>2. 高齢者の生きがいの創出は 町は、集落内の高齢者との繋がりの為に見守り・敬老事業など予算はつけてあります。果たしてそれだけで高齢者に十分な配慮ができているのでしょうか。引きこもりにならないか心配になります。生まれ育った集落に愛着があり最後まで実家で過ごしたいと思う方は多いはずです。本当にそこに憩いの場所はあるのでしょうか。補助金よりももっと大切にするものはないでしょうか。行政として何か発信するものはないのでしょうか。先日の報道で、50・80の悲惨な事件を知りました。これが進み60・90とも言わっていました。 高齢者の居場所、気軽に相談ができる場所が必要と思います。 福祉・社会教育にかかりますので町長・教育長の所見を伺います。</p>	町長 教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和元年6月4日

大山町議会議長 杉谷 洋一様

10番 大山町議会議員 近藤 大介



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 道徳教育について</p> <p>昨年度、小学校で道徳の教科化が始まり、今年度からは中学校でも同様に始まつた。</p> <p>1) 教科化の目的は。</p> <p>2) 子どもの道徳性を評価することのはずや難しさが心配されるが、学校現場での取り組みの現状や課題は。評価を行うことが価値観の画一化につながる恐れはないか。</p> <p>3) 道徳科の指導について、教員はどのような研修を受けるか。教科になつたことで、研修内容等に変化はあるか。</p> <p>4) 教科化になつたことで教員の負担はどの程度増えているか。道徳科専任の教員を配置する考えは。</p> <p>(再質問で、「星野君の二るい打」の道徳的意義について質問する予定)</p>	教育長
<p>2. 職員定員の管理、計画的な採用について</p> <p>1) 計画的な職員採用についての方針は。</p> <p>2) 令和2年4月1日の職員採用の方針は。</p> <p>3) 本町の2040年の人口は、約1万人と推計されているが、産業構造が類似する1万人規模の自治体での職員数は何人くらいか。また、そのような団体の財政規模はどれくらいか。</p> <p>4) 少子化が進む中、将来的に、保育所直営が町財政の負担になる恐れはないか。中長期的な保育所経営の財政見通し、方針はどうなっているか。</p> <p>5) 第3次大山町定員適正化計画は竹口町長の独断で破棄され、第4次計画も作成されなかつた。首長が恣意的に計画を扱うことは、行政への信頼低下につながる。行政が策定する計画について、どのように考えているか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



令和1年6月4日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一様

議席番号 8 番 大山町議会議員

大森 正治

印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 町民の暮らしを守るために 明治安田生命がこの4月に行なった「家計」に関するアンケート調査によると、消費税増税が家計に与える影響について、「影響が大きい」が7割を占めた。現在の給料についての満足度は、「満足していない」が55%（「満足している」は16%）で、満足していない理由は、「貯蓄するお金がないから」が55%、「日々の生活が苦しいから」が41%であった。それもそのはず、5年前の消費税8%への増税を契機に労働者の実質賃金は年平均10万円も落ち込んでいるからだ。</p> <p>本町の町民の生活実感も同じような傾向と推測されるが、年金生活者の中にはさらに厳しい生活を強いられている町民が少なくないと思われる。</p> <p>景気悪化、家計消費の落ち込みや実質賃金の減少、増税反対の世論が多数という現状を考えれば、10月からの消費税10%への増税は実施すべきでない。政府がそれでも増税を強行するならば、町民の生活を守る立場にある町長は、それに対抗する措置をとるべきと考える。</p> <p>また、高い国保税は引き下げていくことが、被保険者の生活安定につながるが、せめて、引き上げを抑えるようにすべきと考える。そのために、今年度からの賦課方式の改定によって国保税が増える世帯には、何らかの措置を講ずるべきと考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 町民の生活の実態について、行政としてどのように把握しているか。</p> <p>(2) 消費税増税に伴って値上げになる公共料金を、町民には実質値上げにならない方策が検討できないか。せめて、保育料や学校給食費について、また、生活保護世帯や住民税非課税世帯の上下水道料金について、実質値上げにならない措置が検討できないか。</p> <p>(3) 国保税の賦課方式改定に伴って、増税になる世帯数はどれだけあるか。</p> <p>(4) 国保税が増える世帯への激変緩和措置を検討しないか。</p>	町長 教育長

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



質問事項と要旨	質問の相手
<p>2. 開拓地域移住者に給水便宜を</p> <p>現状の開拓専用水道では、住宅に新たに水道を設置しようにもできないと聞く。これでは、新規居住者に生活用水を保障しなければならない町行政として無責任と言わざるを得ない。また、開拓地域への移住が増えていくと予想されるなか、移住定住を推進している本町として早急に解決しなければならない課題である。</p> <p>開拓専用水道の現状では、水道使用戸数を増やすことができないなら、それに代わる施策を検討しなければならない。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 開拓専用水道から住宅へ新たに配水できないのはなぜか。 (2) 新規居住者に生活用水を保障するうえでも、また、移住定住の促進上からも、町行政として何らかの便宜を図るべきではないか。 (3) 開拓専用水道が配水できない現状があるなら、自家用井戸掘削の補助制度を考えるべきではないか。 	町長
<p>3. 大山町から「平和」の発信を</p> <p>最近、日本維新の会の国会議員が北方領土返還の手段として戦争に訴えたらどうかという旨の発言をして、大問題となっている。</p> <p>これは第二次世界大戦による戦争の悲惨さとおびただしい犠牲のもとに日本国憲法を制定して、戦後再出発した日本の立憲主義に反する戦争肯定の考えが根底にあるものであり、言論の自由などと決して言えるものではない。</p> <p>このような発言が国会議員の中から出る背景として、戦争体験の風化があり、戦争の悲惨さを想像する力が弱まっている日本の現状がある。今こそ、戦後の原点に戻って、紛争は戦争にさせない、とことん話し合いで解決するという土壤を培っていく必要がある。そのためには、戦争の悲惨さを継承することが重要である。</p> <p>身近な地域の大山町にも、米軍による大山口列車空襲や御来屋沖の軍用船襲撃があった。この凄惨を極めた戦争があったことを町民だれもが認識し、子々孫々へ伝えていく責任が行政にはあるのではないだろうか。</p> <p>戦後74年、戦争体験者が2割にも満たなくなった現在、戦争体験を継承する場である、常設の展示室を設けることは意義あることと考える。これは、大山口列車空襲被災者の会の方々が努力されている活動とも相乗効果があると考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本町に関わる資料を中心とした戦争と平和に関する資料を展示する「平和ミュージアム」のような部屋を設置したらどうか。 (2) 戦争と平和に関するフィールドワークができるように、戦争遺跡・遺物などがある場所を整備しないか。 (3) 核兵器廃絶の平和宣言をした本町として、その標柱を設置しないか。 	町長 教育長

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和元年 6月 4 日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 5番 大山町議会議員 大原 広巳 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 大山口駅舎の今後について</p> <p>①インバウンド対応や里部の観光拠点として整備してみないか。 ②まちづくりなど賑わいの拠点として整備してみないか。 ③列車空襲の遺品の展示はできないか。</p>	町長
<p>2 ひきこもりやいじめ・不登校について</p> <p>①人数の確認は充分できているか。 相談者数や不登校生徒は増えていないか。 ②80・50問題やニート対策は充分か。 ③個人情報には配慮は必要だが、もっと広報をすべきだと思うが対策は。</p>	町長 教育長
<p>3 堆肥センターについて</p> <p>①昨年と比べ利用者は増えたか。 ②耕畜連携として、もっと稼働率を上げるべきではないか。対策は考えているか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



令和 1 年 6 月 4 日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 13 番 大山町議会議員 岡 田 聰 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質問事項と要旨	質問の相手
1、消費税引き上げ時の対応は 本年 10 月から社会保障と税の一体改革を目的に、消費税率が 8 % から 10 % に引き上げられる。それに伴い、負担の大きい低所得者に配慮する観点から、「酒類・外食を除く飲食料品」と「定期購読契約が締結された週 2 回以上発行される新聞」を対象に消費税の軽減税率制度が実施される。 (1) 軽減税率制度の複数税率への対応が必要となる中小企業や小規模事業者等には、複数対応レジの導入や、受発注システム改修等を行う際に。その経費の一部を補助する制度がある。町内の各事業者等はこの制度を活用し、準備をしていく必要があるが、町としてどう関わっていくのか。 (2) プレミアム付き商品券など、今回の国の事業に合わせて、町単独事業で低所得者や子育て世帯（0～2 歳児）の消費に与える影響の緩和と、地域の消費を喚起・下支えの目的で予算化されたが、対象世帯へ割り当て等しなければ目的が果たせないと思うがどうか。 (3) キャッシュレス決済時におけるポイント還元制度、に対しての町の関わりに対してはどうか。 (4) 他の減税制度に関してはどうか。	町長
2、新年度の教育方針は 教育長に就任されてから、将来を背負って立つ、大山町の児童・生徒の教育に、鋭意力を入れ尽力されている教育長に敬意を表し、質問致します。 (1) 令和元年度の教育方針をお示し下さい。 (2) 将来を見据えた学校づくりをどうお考えか。 (3) 地域の学力向上や、コミュニティスクール設置はどうお考えか。 (4) I C T 活用と指導体制は。	教育長
受附 第 11 号 1.6.4 大山町議会	

質問事項と要旨	質問の相手
<p>3、地球温暖化対策に貢献を</p> <p>地球温暖化の進行は、気候変動により私たちの生存基盤及び経済基盤の存立基盤を揺るがす重大な脅威である。地球温暖化がもたらす脅威に対し、将来における国民の生命・身体・財産の安全を確保するため、今後とも、環境と経済の両立を図りつつ、切れ目なく地球温暖化対策を推進する必要がある。</p> <p>と、地球温暖化対策に関する方針に示されている。大山町では、環境保護の取組みの実践シンボルとして風力発電“太空海”号が旧名和町で建設されており、大きな働きをしていますが、町民レベルでもっと温暖化対策に取り組む必要があると考えます。</p> <p>(1) 小さなことであるが、レジ袋の削減のためマイバッグ使用の奨励。</p> <p>(2) 燃えるゴミを減らす更なる取組み。</p> <p>(3) 分散型エネルギー供給構造の構築及び地球温暖化対策に貢献するために再生エネルギー発電等への助成等、更に、家庭用蓄電池設置への助成等。</p> <p>(4) 環境保護教育。</p> <p>(5) その他。</p> <p>以上質問致します。</p>	町長 教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和元年6月4日

大山町議会議長 杉 谷 洋 一 様

議席番号 9番 大山町議会議員 野 口 昌 作 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 30分)

質問事項と要旨	質問の相手
(一) 大山町を担う青年の本町定住対策は	
県内高校を卒業し激しい入試を突破し大学に入学無事に卒業したものの	
都会で就職して地元に帰ってこない。	
「家の跡継ぎが、地元を振り返らず向こうに住宅を建ててしまった」、	
この家もわしの代で終わりだわい」	
というような話をよく聽きます。	町 長
本町発展のため方策を考えなければならないが、	
町長は良い方策を実行する考えはないか。	

